

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 12 回 臨時委員会
日時	平成23年8月10日 自 11時 至 11時55分
場所	苫小牧市役所第9階第2委員会室
出席委員	委員長 上原 毅 委員 佐藤 郁子 委員 鈴木 正樹 委員 佐藤 守 委員 山田 眞久
欠席委員	
会議録署名委員	佐藤 守 委員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 田中 亮太
事務局職員	学校教育部長 斉藤 章吾 学校教育部次長 田中 章嗣 スポーツ生涯学習部次長 鹿野 定幸 総務企画課長 戸村 真規 指導室長 岩井 真二 総務企画課総務係長 三橋 大輔 総務企画課施設係長 竹内 章洋 学校教育課学務係長 高坂 博幸 総務企画課総務係主事 田中 亮太 総務企画課施設係主事 平田 拓也
説明職員	都市建設部建築課副主幹 山地 吉明
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（上原委員長） … 11時00分
2	会議録署名委員の指名（佐藤守委員）
3	議 案
	な し
4	そ の 他
	(1) (仮称) 第24小学校住民説明会及びパブリックコメントの実施について
	(学校教育部長) 第24小学校について、今月下旬から住民説明会を開催するに当たり、事前に教育委員の皆様にご説明させていただく。住民説明会だが、8月25日(木)と27日(土)の2回を予定している。
	開催までのスケジュールは、本日臨時教育委員会を開催し、その後16日(火)に関係町内会、沼ノ端地区の7町内会、7小中学校のPTA役員に対する事前説明会を予定している。17日からはパブリックコメントを開始するとともに、その期間の中の25、27日に住民説明会を開催させていただく、そういう予定でいる。
	9月1日から16日までは校名募集期間とする。
	今後のスケジュールだが、今年度は実施設計、校名募集を行い、24年度はいよいよ校舎・屋体等の本体工事、放課後児童クラブの建設工事、グラウンド整備工事を施行し、25年の4月の開校を予定している。
	次に、住民説明会の内容について説明させていただく。今のところ「案」と記載

<p>されているが、町内会及びP T Aの方々に1 6日説明した後、この「案」を削除し、</p>
<p>住民説明会に臨もうと思っている。以下「(仮称) 第2 4小学校住民説明会 (案)」</p>
<p>の各項目を説明。建築物の特徴については、建築課職員から説明させていただく。</p>
<p>以上。</p>
<p>(上原委員長) 意見や質問があればお受けする。</p>
<p>(佐藤守委員) スケジュールでいうと、今日が1 0日で、1 6日に町内会・P T A事</p>
<p>前説明会ということであり、現在夏休み中だが、保護者に対する文書配布というのは</p>
<p>事前にされているのか。住民説明会も合わせて行うということで、配布方法はホ</p>
<p>ームページのみの記載なのか、詳細を聞かせていただきたい。あと、分離前だと学</p>
<p>級数4 0ということだが、分離後が1 9学級と2 3学級で4 2学級ということで、</p>
<p>2つ増えているが、これは1年生の関係か。</p>
<p>(学校教育部長) 住民説明会の保護者との周知方法だが、市のホームページ、市役所</p>
<p>だよりで掲載、学校が始まるので別途各学校からお便りで通知することになってい</p>
<p>る。1 6日の町内会・P T Aの役員への説明会の通知については、各町内会会長及</p>
<p>びP T Aの会長に本日持参している。分離した後、2学級合わない理由は、それぞ</p>
<p>れ端数が出てくるので、各学校ごとに学級数を数えると合わなくなる。</p>
<p>(上原委員長) 他に意見や質問があればお受けする。</p>
<p>(上原委員長) 現在プレハブの教室は1 2教室あるが、新しい学校ができたときはど</p>
<p>うなるのか。</p>
<p>(学校教育部長) 他に転用ということも可能性としてはあるが、今のところは解体す</p>
<p>る方針である。</p>
<p>(学校教育部長) 建築課の担当職員が来たので、説明を補足させていただきたい。</p>
<p>(建築課副主幹) 敷地となっている拓勇西町の土地だが、現在この辺りにふるさと農</p>
<p>園として一部使用している土地である。場所的には拓勇の大通りがあり、不二家</p>
<p>あり、青翔中学校が北東にある。この敷地には、現在校舎とグラウンドを配置して</p>
<p>いるが、配置計画に当たっては生徒の流れや車の流れといったことを視点を据えて</p>

配置を決めている。校舎の東側に大きな太い通りがあり、その通りからこの16m
の通りを通ってのアクセスということがメインに考えられている。南側と北側に信
号のある交差点があり、主に通学路として想定されるのは、信号のある交差点にな
るので、そこから自然に流れて東側の校舎の入口に向かうこととなる。また、車に
関しても、給食搬入のほか、父母の送り迎えが非常に増えてきているので、車もこ
の太い通りから細い通りの中で交通量が増えると事故の原因にもなるので、この太
い通りをメインにということで今回に関しては、東側に校舎、グラウンドを西側と
大きな配置計画を考えている。この中で校舎等については1番南側に普通教室、中
間部分に特別教室、北側に体育館といった3つの大きなブロックに分けている。北
の隅に×印があるが、この部分が留守家庭児童用ということで、放課後児童クラブ
用の建物が今回の学校建設と同時に建設することになっている。敷地周辺の現状の
歩道だが、実はこの周りは歩道が狭く現在1.25mということで、児童が通るに
は非常に狭い。今回の建設に合わせ、歩道を敷地側に拡幅して整備すると考えてい
る。それぞれ3面、西面、北面、南面については2.25メートルまで拡幅する。
メインとなる東側の通りは3メートルまで歩道の部分を確保し、生徒が、登下校時
に歩道に溢れないように、と考えている。
建物の特徴的なものとして、1階部分についてはコの字の計画、2、3階につい
ては口の字の回路型の計画となっている。従来の中庭型の学校というのも数校、若
草小学校などが市内にはあるが、中庭の活用としてより自由度を増す、また、メン
テナンスに配慮するというので中庭を設けるが、グラウンド側に関しては通路と
して中を通れるようにして、自由に出入りできるようにし、開放的な空間となっ
ている。校舎等の方の普通教室に関しては、多目的スペースを各階設けている。1・
2・3階それぞれの中間部分に多目的スペースを設けることで、児童の総合学習や
夏休み等の展示スペースといった多目的な利用が考えられる。特に近年は、2クラ
ス共同での総合学習とか、スペースが不足していると学校側の運営実態が聞かれて
いるので、そういった意味でこの中間部分に多目的スペースを設けるように配置を

<p>計画している。</p>
<p>児童の安心安全に係る部分として、管理部門の配置も大事になってくる。管理部門の場所は、職員用の昇降口の脇になるが、1階部分に事務室関係、2階部分に少し校舎から飛び出させて職員室がある。意識的にこのようにしており、より広い視野を確保し、登下校時の生徒の安全を見守るという形で考えている。</p>
<p>体育館部分については 従来の拓勇小、ウトナイ小といった近年の体育館と同規模のものを考えている。アリーナ部分のほか、器具室を3部屋、学校開放時その他を考慮してトイレの設置、そういったもので体育館は整備していこうと思う。</p>
<p>校舎について、防災という観点もある。学校の屋上の避難のスペースについて、今回経路として1階部分から入り、1番上の所まで階段が付いており、ドアを開けると屋上部分に上っていける。災害時の対応としては、屋体に等に防災用のコンセント関係や、放送、情報機器といったものを極力整備していきたいと思う。災害時の対応として水が出てくると思うが、水も直圧式と1度タンクに溜めてポンプで送り出すという受水槽と2つ設けることにしている。従来から学校については、休み時間の同時使用があるので受水槽は設けているが、その受水槽は若干の水を溜めておいて送り出す形になっているので、断水時にはそれを使える。ただ、停電になるとポンプで送り出せないで、直圧で来ている水が体育館に入るようになっているので、そういったもので水を確保する。同時に2つとも故障すると厳しいが、どちらか片方であれば若干の対応ができると思っている。</p>
<p>教室関係だが、これが全体の配置になる。十分な日光と通風が学校では大事かと思う。校舎等の間隔等につき採光ができるように、また、通風に関しては多目的スペースだが、こういったところから校内に風が通るように、今回両面で配置し、若干空気が抜けづらい部分があるので、その部分をカバーすることとしている。中が暑くならないように考えている。</p>
<p>(上原委員長) 先程と今の説明を合わせて、意見や質問があればお受けする。</p>
<p>(佐藤守委員) グラウンドのフェンスはどのような形のものが付くのか。中庭は芝な</p>

<p>のか。今、震災関係で停電の話も出ていたが、太陽光発電などの利用は考えられているのか。</p>
<p>(学校教育部長) フェンスだが、拓勇小と同程度のものを考えている。ソーラーパネルについては、設置を考えているが、出力自体は大したものではない。中庭については、まだ決定していない。</p>
<p>(上原委員長) 屋上の使い方だが、防災の避難場所として対応できるのか。</p>
<p>(学校教育部長) 一応、屋上まで上がれる避難階段は作るが、今の設計ではフェンスを回すところまでは考えていない。理事者との協議の中で、どうするかはまだ決まっていない。過去にも屋上にフェンスを回している校舎もあったが、経年劣化や腐食があったり、逆に施錠管理の関係で間違いがあったりと想定されるので、フェンスを回すところまではまだ結論が出ていない。</p>
<p>(上原委員長) 総合防災計画において、津波も含めてだが、見直しをしている。当然1番新しい施設になるのだから、そういう面の対応は、実施する必要があるのではないか。</p>
<p>(学校教育部長) 当然、学校は避難所になるのだが、結局は財源次第である。教育的・防災的観点からは必要であると考えている。最終的な判断は、危機管理室の判断となる。教育委員会としては、必要ではないかと思っている。</p>
<p>(上原委員長) 例えば、学校に児童がいない時に津波が来る可能性もあれば、いる時に来る可能性もある。今回東北の大震災を見ていると、子どもたちが一番近くにいるのだから、教育委員会としては要望しておいた方がいいと思う。</p>
<p>(上原委員長) 他に意見や質問があればお受けする。</p>
<p>(上原委員長) 了承することよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>—事務局案を了承—</p>

(2) 平成23年度苫小牧市統一学力検査の結果と考察について

(指導室長) 前回の定例教育委員会で統一学力検査の結果と考察について説明をさせていただきました。委員の皆様から了承いただき、今後、公表と保護者へ配布の手続きを進めていたところだが、文言を最終確認したところ、分かりづらい文言が出てきたので、内容は変わらないが修正という形で変えた部分があるので説明させていただきます。以下「平成23年度苫小牧市統一学力検査 結果と考察」の下線を引いた部分について説明。

これらの箇所について最終確認したところ、この方が分かりやすいだろうということで修正をさせていただきましたので、御了承いただきたい。合わせて、小学校5年生、中学校2年生の保護者への通知文書を8月22日付で配布する考えでいる。2学期が17日に始まるので、印刷等業務を考えると、翌週の月曜日ということで予定を立てさせていただきました。これについては、次回の校長会議の席で説明させていただく。加えて、ホームページの公表についても22日を予定している。その内容については本日、若干修正させていただきました「結果と考察」をそのまま載せる予定である。

(上原委員長) 意見や質問があればお受けする。

中身については、前回の委員会の中で話し合ったものであり、それをより丁寧に説明したものであるため、特に中身的に問題がなければ、原案どおりでよろしいか。

(一同「異議なし」の声)

—事務局案を了承—

